

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-022614
 (43)Date of publication of application : 29.01.1993

(51)Int.CI.

H04N 1/44

G06F 13/00

H04L 9/00

H04L 9/10

H04L 9/12

H04N 1/00

H04N 1/32

(21)Application number : 03-173718

(71)Applicant : MATSUSHITA GRAPHIC
COMMUN SYST INC

(22)Date of filing : 15.07.1991

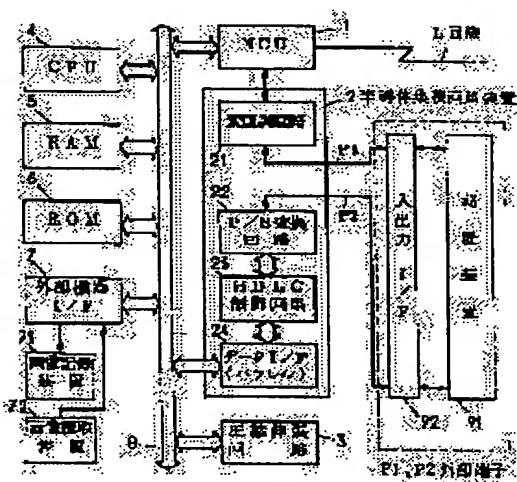
(72)Inventor : NOGUCHI OSAMU
NOMA NOBUHIKO

(54) IMAGE COMMUNICATION EQUIPMENT

(57)Abstract:

PURPOSE: To connect a secrecy device to a facsimile equipment by leading each serial input/output of a MODEM circuit and a P/S conversion circuit to an external terminal of a semiconductor integrated circuit device in a state where the MODEM circuit and the P/S conversion circuit are separated from each other.

CONSTITUTION: A semiconductor integrated circuit device 2 contains a MODEM circuit 21, a P/S conversion circuit 22, an HDLC control circuit 23, and a parallel data interface 24 which are integrated on a semiconductor board. The circuit 21 modulates the serial data into a circuit signal and demodulates the circuit signal into the serial data. The circuit 22 converts the serial data to be transferred into the parallel data. The circuit 23 applies the signal processing to the parallel data to be inputted to and outputted from the circuit 22 through an HDLC frame. Then the interface 24 connects the circuit 23 to an external bus line. Then each serial input/output of both circuits 21 and 22 is led to the external terminals P1 and P2 of the device



(3)

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-22614

(43)公開日 平成5年(1993)1月29日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
H 04 N 1/44		2109-5C		
G 06 F 13/00	3 5 1 G	7368-5B		
H 04 L 9/00				
9/10				

7117-5K

H 04 L 9/ 00

Z

審査請求 未請求 請求項の数2(全4頁) 最終頁に続く

(21)出願番号	特願平3-173718	(71)出願人	000187736 松下電送株式会社 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号
(22)出願日	平成3年(1991)7月15日	(72)発明者	野口 修 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号 松下 電送株式会社内
		(72)発明者	野間 伸彦 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号 松下 電送株式会社内
		(74)代理人	弁理士 小鍛治 明 (外2名)

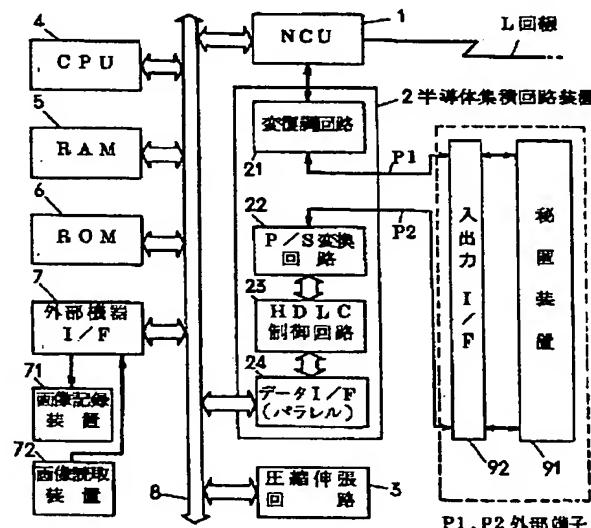
(54)【発明の名称】 画像通信装置

(57)【要約】

【目的】 装置を複雑かつ高コスト化することなく、ファクシミリ装置などに秘匿装置の接続を可能にする画像通信装置を提供する。

【構成】 変復調回路と、P/S変換回路と、H D L C制御回路と、パラレル・データI/Fを半導体集積回路装置として集積形成するとともに、上記変復調回路と上記P/S変換回路の各シリアル入出力を互いに切り離した状態でそれぞれに上記半導体集積回路装置の外部端子へ導出させる。

【効果】 半導体集積回路装置内のP/S変換回路とH D L C制御回路を秘匿装置の接続に利用できるようになる。これにより、上記目的が達成される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】シリアルデータから回線信号への変調および回線信号からシリアルデータへの復調を行なう変復調回路と、この変復調回路を介して送受信されるシリアルデータをパラレルデータに変換するパラレル/シリアル変換回路と、このパラレル/シリアル変換回路に入出力されるパラレルデータに対してHDLCフレームによる信号処理を行なうHDLC制御回路と、このHDLC制御回路を外部のバスラインに接続するパラレル・データ・インターフェイスとが半導体集積回路装置として集積形成されるとともに、上記変復調回路と上記パラレル/シリアル変換回路の各シリアル入出力が互いに切り離し可能な状態でそれぞれに上記半導体集積回路装置の外部端子へ導出されていることを特徴とする画像通信装置。
10

【請求項2】パラレル/シリアル変換回路に入出力されるパラレルデータに対してHDLCフレームによるファクシミリ伝送制御を行なうHDLC制御回路と、このHDLC制御回路を外部のバスラインに接続するパラレル・データ・インターフェイスと、変復調回路とパラレル/シリアル変換回路との間でやり取りされるシリアルデータに対して秘匿処理を行なう秘匿装置とを備えた請求項1記載の画像通信装置。
20

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ファクシミリ装置などで使用されるモ뎀およびその周辺回路が集積形成された半導体集積回路を備えた画像通信装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来のこの種の装置は、図2に示すように、シリアルデータから回線信号への変調および回線信号からシリアルデータへの復調を行なう変復調回路21と、上記変復調回路21を介して送受信されるシリアルデータをパラレルデータに変換するP/S(パラレル/シリアル)変換回路22と、このP/S変換回路に入出力されるパラレルデータに対してHDLCフレームによる信号処理を行なうHDLC制御回路23と、このHDLC制御回路23を外部のバスライン8に接続するパラレル・データI/F(インターフェイス)24とが半導体集積回路装置2として集積形成され、この半導体集積回路装置2を、NCU(回線制御ユニット)1、CPU(中央制御装置)4、RAM5、ROM6、画像記録装置71および画像読取装置72が接続される外部機器I/F7とともに、共通のバスライン8に接続してファクシミリ装置の主要部分を構成することが行なわれていた(たとえば、特開昭59-221167号公報を参照)。

【0003】さらに、図2に示したファクシミリ装置では、秘匿装置91によって、回線Iから送信および受信されるファクシミリ信号の暗号化および解読を行なえる

ようにしてある。この秘匿装置91を接続するために、上述した構成に加えて、シリアル入出力I/F92、P/S変換回路93、HDLC制御回路94が別途設けられている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、かかる構成によれば、秘匿装置を接続するために回路数が多くなって、装置が複雑かつ高コスト化するという問題があつた。

【0005】上述の問題は以下の理由で生じる。すなはち、秘匿装置91は、暗号解読したシリアルデータが所定のHDLCフレームとなるようにするために、単独で使用することはできず、その使用に際してはP/S変換回路93とHDLC制御回路94が別途必要になる。このため、秘匿装置91が接続可能なファクシミリ装置は、どうしても複雑かつ高コストにならざるを得なかつた。

【0006】本発明は、上述した課題に鑑みてなされたもので、装置を複雑かつ高コスト化することなく、秘匿装置の接続を可能にする画像通信装置を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は上述の課題を解決するため、シリアルデータと回線信号との間の変調および復調を行なう変復調回路と、上記変復調回路を介して送受信されるシリアルデータをパラレルデータに変換するP/S変換回路と、このP/S変換回路に入出力されるパラレルデータに対してHDLCフレームによる信号処理を行なうHDLC制御回路と、このHDLC制御回路を外部のバスラインに接続するパラレル・データI/Fを半導体集積回路装置として集積形成するとともに、上記変復調回路と上記P/S変換回路の各シリアル入出力を互いに切り離した状態でそれぞれに上記半導体集積回路装置の外部端子へ導出させる、という構成を備えたものである。

【0008】

【作用】本発明は、上述の構成によって、半導体集積回路装置内のP/S変換回路とHDLC制御回路を秘匿装置の接続に利用できるようになるため、装置を複雑かつ高コスト化することなく、ファクシミリ装置などに秘匿装置を接続することが可能となる。

【0009】

【実施例】以下、本発明の実施例を図を参照しながら説明する。

【0010】なお、図において、同一符号は同一または相当部分を示すものとする。図1は本発明の一実施例による半導体集積回路装置およびこの半導体集積回路装置を用いたファクシミリ装置の概略構成を示すものであつて、1は回線Iに接続されるNCU(回線制御ユニット)、2はファクシミリ信号の伝送制御を行なうための

主要な回路が集積形成された半導体集積回路装置、3はデータの圧縮伸張回路、4はマイクロ回路化された汎用制御装置いわゆるマイクロ・コンピュータを用いたC P U(中央制御装置)、5は画情報などの可変データを記憶するRAM、6はシステム・プログラムなどの固定データを記憶したROM、7は画像記録装置7 1および画像読取装置(スキャナー)7 2が接続する外部機器I/F、8は上述した各部を互いに連結するためバスライン、9 1は秘匿装置、9 2は秘匿装置9 1のシリアル入出力I/Fである。

【0011】ここで、上記半導体集積回路装置2は、シリアルデータから回線信号への変調および回線信号からシリアルデータへの復調を行なう変復調回路2 1と、この変復調回路2 1を介して送受信されるシリアルデータをパラレルデータに変換するP/S変換回路2 2と、このP/S変換回路2 2に入出力されるパラレルデータに対してHDLCフレームによる信号処理を行なうHDLC制御回路2 3と、このHDLC制御回路2 3を外部のバスライン8に接続するパラレル・データ・I/F(インターフェイス)2 4が同一の半導体基板に集積形成されている。これとともに、上記変復調回路2 1と上記P/S変換回路2 2の各シリアル入出力が互いに切り離された状態で、それぞれに上記半導体集積回路装置2の外部端子P 1、P 2へ導出されている。

【0012】上記外部端子P 1、P 2は、シリアル入出力I/F9 2を介して秘匿装置9 1に接続されるようになっている。秘匿装置9 1は、上記半導体集積回路装置2内の変復調回路2 1とP/S変換回路2 2との間でやり取りされるシリアルデータに対して秘匿処理を行なう。秘匿装置9 1を動作させない場合の上記外部端子P 1、P 2の間は、秘匿装置9 1を介して互いに直結(スルーリー)されるようになっている。

【0013】以上のように構成された半導体集積回路装置およびファクシミリ装置について、以下その動作を説明する。

【0014】まず、秘匿装置9 1が非動作状態にある場合について説明する。この場合、半導体集積回路装置2内の変復調回路2 1とP/S変換回路2 2は直接シリアルデータのやり取りを行なう。

【0015】すなわち、受信時には、回線Lからの受信画情報が半導体集積回路装置2内の回路2 1、2 2、2 3、2 4によって受信処理された後、バスライン8を介してデータ圧縮伸張回路3へ送られ、そこで元の画情報に復元された後、画像記録装置7 1で記録紙に印刷記録される。

【0016】送信時には、画像読取装置7 2からの読取画情報がデータ圧縮伸張回路3で圧縮処理された後、半導体集積回路装置2内の回路2 4、2 3、2 2、2 1によって送信処理されて回線Lへ送出される。

【0017】次に、秘匿装置9 1が動作状態にある場合

について説明する。この場合、半導体集積回路装置2内の変復調回路2 1とP/S変換回路2 2は、外部端子P 1、P 2を介して接続される秘匿装置9 1を介して間接的にデータのやり取りを行なう。

【0018】すなわち、受信時には、半導体集積回路装置2内の変復調回路2 1によって受信信号から復調されたシリアルデータが、外部端子P 1を介して秘匿装置9 1に入力され、そこで暗号解読処理された後、外部端子P 2から半導体集積回路装置2内に戻される。半導体集積回路装置2内に戻された解読データは、P/S変換回路2 2でパラレルデータに変換され、HDLC制御回路2 3でフレーム処理された後、パラレル・データI/F2 4から外部バスライン8を介してデータ圧縮伸張回路3へ送られ、そこで記録のために伸張処理される。

【0019】送信時には、半導体集積回路装置2内のP/S変換回路2 2によってシリアルデータに変換されたHDLCフレーム信号が、外部端子P 2を介して秘匿装置9 1に入力され、そこで暗号化処理された後、外部端子P 1を介して半導体集積回路装置2内に戻される。半導体集積回路装置2内に戻された信号は、変復調回路2 1によって回線信号に変調された後、回線Lへ送出される。

【0020】以上のようにして、半導体集積回路装置2内のP/S変換回路2 2とHDLC制御回路2 3がファクシミリ信号の送受信処理と秘匿装置2の接続処理の両方に利用される。これにより、装置を複雑かつ高コスト化することなく、ファクシミリ装置などに秘匿装置を接続して使用することができる。

【0021】
30 【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明は、シリアルデータと回線信号との間の変調および復調を行なう変復調回路と、上記変復調回路を介して送受信されるシリアルデータをパラレルデータに変換するP/S変換回路と、このP/S変換回路に入出力されるパラレルデータに対してHDLCフレームによる信号処理を行なうHDLC制御回路と、このHDLC制御回路を外部のバスラインに接続するパラレル・データI/Fを半導体集積回路装置として集積形成するとともに、上記変復調回路と上記P/S変換回路の各シリアル入出力を互いに切り離した状態でそれぞれに上記半導体集積回路装置の外部端子へ導出させることによって、半導体集積回路装置内のP/S変換回路とHDLC制御回路を秘匿装置の接続にも利用できるようになるため、装置を複雑かつ高コスト化することなく、ファクシミリ装置などに秘匿装置を接続して使用することができる、という効果を有するものである。

【図面の簡単な説明】
【図1】本発明の一実施例による半導体集積回路装置およびそれを用いたファクシミリ装置の概略構成図
50 【図2】従来の半導体集積回路装置およびそれを用いた

ファクシミリ装置の概略構成図

【符号の説明】

L 回線

1 NCU (回線制御ユニット)

2 半導体集積回路装置

2.1 変復調回路

2.2 P/S (パラレル/シリアル) 変換回路

2.3 HDLC制御回路

2.4 パラレルデータ I/F

P1, P2 外部端子 P1, P2

3 データ圧縮伸張回路

4 CPU (中央制御装置)

5 RAM

6 ROM

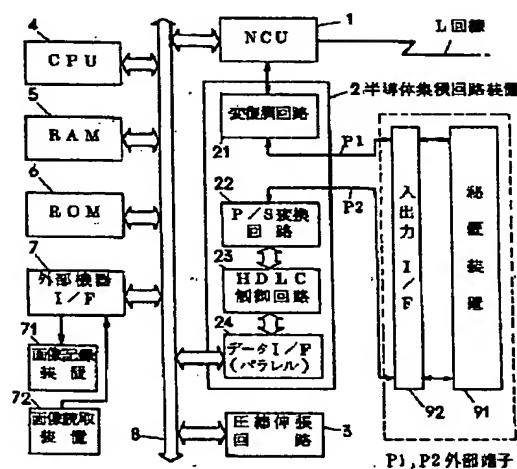
7 外部機器 I/F (インターフェイス)

8 バスライン

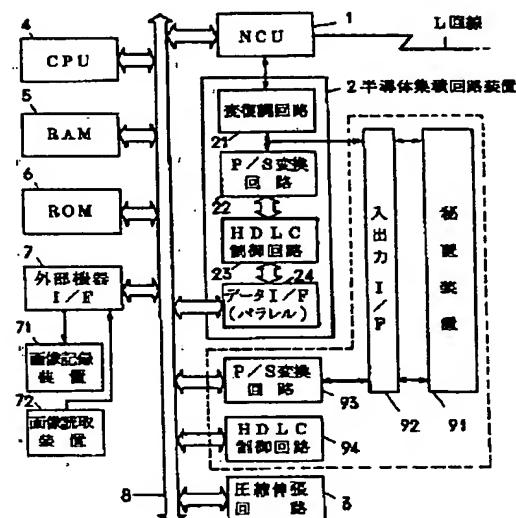
9.1 秘匿装置

9.2 シリアル入出力 I/F

【図1】



【図2】



フロントページの続き

(51) Int.C1.⁵

識別記号 庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 0 4 L 9/12

H 0 4 N 1/00 107 Z 4226-5C
1/32 Z 2109-5C